

科目名： 子どもの保健（講義 2単位）		担当教員名： 吉崎 朋子	使用テキスト：出版社名・テキスト名 診断と治療社：子どもの保健テキスト
授業の到達目標及びテーマ： 子どもの心と身体の健康を維持・増進するための知識や理論を学び、保育の実践活動において医学的根拠に基づいた考え方ができる。			
授業の概要： 子どもの年齢や様々な養育場面において、子どもの健康および安全を考えた実践活動ができるよう、必要な医学的知識を深める。			
回	項 目	内 容	
1 4/13	第1章 子どもの健康と保健	① 保健活動の意義と目的：1. 子どもの保健とは 2. 子どもの保健で扱うこと 3. 保育所保育指針での取り扱い 4. これからの子どもの保健	
2 4/20		② 子どもの出生と母子保健の意義：1. 胎児の発育 2. 出生の過程 3. 出生後の新生児 4. 母子保健の意義	
3 4/27		③ 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題：1. 母子保健の現状 2. 出生に関する統計 3. 死亡に関する統計 4. 子どもの発育の変化 5. 乳幼児の運動・言語機能発達の変化 6. 子どもの体力・運動能力の変化	
4 5/11	第2章 子どもの発育・発達と保健	① 子どもの身体発育と運動機能の発達：1. 子どもの発育と発達 2. 乳幼児の身体計測の仕方 3. 標準的な子どもの身体発育 4. 発育の評価の仕方 5. 身体発育に影響を与える因子 6. 子どもの運動機能の発達	
5 5/18		② 生理機能の発達と生活習慣：1. 体温調節の発達 2. 呼吸系の発達 3. 循環系の発達 4. 体液調節の発達 5. 消化機能の発達 6. 排泄機能の発達 7. 睡眠の発達	
6 5.25	第3章 地域における保健活動と子どもの虐待防止	1. 地域における保健活動 2. 子どもの虐待の現状 3. 子どもの虐待の実際 4. 子どもの虐待への対応 5. 子どもの虐待防止の取組	
7 6/1	第4章 子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	1. 子どもの健康状態の把握 2. 子どもの体調不良時によくみられる症状	
8 6/8	第5章 子どもの病気	① 子どもの免疫の発達と感染症の特徴：1. 子どもの免疫の発達 2. 感染症とは 3. 感染症の主な症状 4. 主なウイルス感染症 5. 細菌性感染症 6. その他の感染症	
9 6/15		② 感染症の予防および適切な対応：1. 感染経路と対策 2. 学校感染症 3. 予防接種 4. 細感染症の予防	
10 6/29		③ 救急疾患の特徴と適切な対応：1. 重症な状態の判断と対応 2. 事故や怪我のときの特徴と対応 3. 急性疾患による救急対応	
11 7/6		④ 新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応：1. 早産児と低出生体重児とは 2. 新生児の病気 3. 新生児疾患への対応 4. 染色体異常症 5. 先天性心疾患 6. 先天性消化器疾患 7. 先天性神経疾患 8. 先天性代謝異常症、先天性内分泌異常症 9. 先天性の血液・免疫疾患	
12 7/13		⑤ アレルギー疾患の特徴と適切な対応：1. アレルギーとは 2. アレルギーの特徴 3. 食物アレルギー 4. アトピー性皮膚疾患 5. 気管支喘息 6. 花粉症 7. アナフィラキシー 8. 集団生活におけるアレルギー児への対応	
13 8/24		⑥ 慢性疾患の特徴と適切な対応：1. 子どもの慢性疾患とは 2. 子どもの慢性疾患の種類と特徴 3. 子どもの慢性疾患の支援制度	
14 8/31	第6章 保護者の情報共有と家族の支援	1. 集団生活前健診（入所時健診、入園時健診） 2. 保護者との健康情報の共有 3. 子どもの家族支援 4. 子育て支援	
15 9/7	第7章 子どもの健康診断と関係機関との連携	1. 妊婦健診 2. 出生前診断 3. 新生児のマススクリーニング 4. 乳幼児健診 5. 学校健診 6. 健診と関係機関との連携	
	期末試験		
参考書・参考資料等：「医療的ケア児支援者養成研修テキスト」末光 茂・大塚 晃監修 2017年 中央法規出版 「子どものための精神医学」滝川 一廣著 2017年 医学書院 「少子化時代の保育と教育」「保育園の子育て支援」坂崎 隆浩著 2017年 株式会社 世界文化社 厚生労働省ホームページ 統計情報・政策			
学生に対する評価方法： 1・期末試験 2. 授業態度 3. 出席状況			